

事業所名

カナの家

支援プログラム

作成日

令和 8 年

1 月

12 日

法人（事業所）理念	キリスト教の愛の精神に基づき、「ともに生きる あなたとわたし」を合言葉に利用者一人ひとりの人格と意思を尊重しつつ、安全に十分配慮した、質の高い医療と介護を提供し、地域福祉の向上に努めます。							
支援方針	運動や言語、コミュニケーションに遅れのある未就学児に対して、心身ともに健やかな育成を行う。未就学児の置かれている環境に応じて必要な養護を適切に行うとともに、早期療育に取り組む生活能力の向上や集団への適応を目指す。							
営業時間	9 時	0 分	から	16 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	家族と情報共有して心身の健康状態の把握に努めるとともに、生活リズムが安定するよう支援する。食事、睡眠、排泄、更衣、身支度、片付け等、子どもの発達段階に沿って日常生活に必要な力を育てる。過ごしやすい環境を作り、一日の生活の流れなどを理解して行動できるよう支援する。						
	運動・感覚	外遊びやサーキット、リトミック(リズム遊び)、室内大型遊具を使用した遊びなどの粗大運動を通して、日常生活に必要な姿勢保持力や身体の使い方を育てる。ハサミや鉛筆等を使用した微細運動を通して、目と手の協調性や手の操作性を高める。感覚や認知特性を踏まえた環境調整を行い、保有する感覚を十分活用できるよう支援する。						
	認知・行動	外界や遊び、活動への興味を引き出すよう環境調整するとともに、子どもの特性を踏まえて関わる。その中で様々な感覚情報から必要な情報を収集できるよう支援する。場面や状況を把握、理解して情報的確な選択ができる力を育てる。一日の流れや活動の終わりを分かりやすい方法で伝え、気持ちの切り替えや次の活動への見通しを持つ力を育てる。空間、時間等の概念の形成を図り、活動を通して数量、大小、色などの違いが身につくよう支援する。						
	言語 コミュニケーション	子どもが意思を表出しやすい環境を作る。言語や言語以外でも意思表出できるツールを使用し、気持ちや思いを伝え、伝わる経験を通して、人とのやりとりの楽しさを感じられるよう支援する。職員とのやりとりや読み聞かせなど、言葉に触れる機会を作り、知っている言葉や言葉の概念を拡げる。発達段階に応じて、場面や状況に応じた言葉の使い方を育てる。また、持ち物や個別の棚などに名前を記載することで、自分の名前を目にする場面を作り、文字への興味を引き出すよう関わる。						
	人間関係 社会性	子どもの育ちの土台となるよう安心できる環境作りと信頼できる人間関係を形成するための支援を行う。遊びや活動を通して職員や友だちなど他者に意識を向け、やりとりする中で仲間として安心感を得たり、相手のことを受け入れて自分の感情に折り合いをつけるなど、感情と行動の調整ができるよう支援する。また、決まりごとやルールを守るなどの社会性を育てる。						
家族支援	家族の思いに寄り添い、共に子どもの成長を見守る。年長、年中、年少児の保護者を主とした勉強会を開催。面談は随時実施。月 1 回週末にイベントを開催し、家族間の交流の場を提供する。			移行支援		子どもの成長に合わせて適切な環境につなげられるよう家族の意向に沿いながら関係機関と連携して支援する。		
地域支援・地域連携	子ども、家族の生活が豊かになるよう病院、保健センター、他事業所等の関係機関との連携を図り、総合的な支援に努める。			職員の質の向上		法定研修と事業所内研修は定期的に行う。外部研修にも都度参加。関連学会に参加、発表する。他施設に外向き、実際場面での教育、保育、支援を見学、研修する。		
主な行事等	遠足(春・秋)・プール・夏まつり(法人主催)・運動会・クリスマス会・保護者勉強会・卒園式							